



佐土原ロータリークラブ週報



ロータリーを
祝おう

100年の歩み

会 長：林 厚 雄
副 会 長：岩 切 正 司
幹 事：藤 堂 孝 一

会 計：柳 田 光 寛
会報委員長：宮 原 建 樹

2004-2005 年度 R I テーマ

第 875 回 平成 17 年 3 月 16 日 (水)

本日のプログラム

1. 点 鐘
2. 食 事 の 時 間
3. ロータリーソング
「奉 仕 の 理 想」
4. 四つのテストの唱和
5. 会 長 の 時 間
6. 幹 事 報 告
7. フ ォ ー ラ ム
「会員増強について」
8. 点 鐘

第 874 回の記録 平成 17 年 3 月 9 日 (水)

☆会長の時間 会長 林 厚雄 君

今日は、ゲスト卓話として、高鍋クラブの河原好秋君に来ていただいております。

ここ数日気温の暖かい日が続いていますが、私をはじめ花粉症の人にとっては、大変つらい時期が来ました。花粉症の患者は全国で2000万人とも言われていますが、必ずしも病院で診察を受けるわけではないので、実態はつかみ難いのが現状です。

しかし、花粉量の増加とともに、ここ数年患者さんの数は増加しています。花粉症は症状が、かぜの諸症状に似ていますが、かぜはウイルスが原因で一週間程度で治りますが、花粉症はその花粉の飛散が終了するまで続きます。

また、一度発症すると多くの場合、来シーズン以降も同様の症状で悩まされることになります。

今日はロータリーの歴史第8回目を話します。

1947年にポール・ハリスが79歳で生涯を終えましたが、ポールが他界の前にロータリー創立42回の記念日に備えたメッセージがあります。それは次の通りです。「ロータリーの開拓者時代は今始まったばかりだと私は思っています。」

今までと同じ位、沢山のしなければならぬ新しいことが目の前にあります。ロータリーは、いつまでも開拓者でいなければなりません。さもなければ、次代の進歩に取り残されることとなります。」この言葉からしても、いつまでも持ち続けたポールの若い情熱が如実にうかがわれます。

ポール未亡人はかねてのポールの遺志にしたがって、いささかの生活費を残して 38,900ドルを R・C に寄付しました。そして「自分の葬式には、花は要らない。自分の死に敬意を表してくれるなら、花でなく、国際間の理解を促進するために、ロータリーの基金に寄付してもらいたい。これが自分の最も希望するものである。」と言っている。

1949年、昭和24年、R・Cは日本のR・C復帰を承認しました。その時R・Cは次の3条件をつけました。

R・Cの定款・細則を厳守すること。

1) R・Cへの義務を完全の履行すること。

2) 現在の各々名クラブや各曜日会などは、解散すること。

昭和24年3月29日に東京ロータリークラブが復帰後の創立総会を開きました。



東京ロータリークラブ

例会場：石 崎 浜 荘 0985-73-1913

事務局：〒880-0303

宮崎郡佐土原町東上那珂 10255

斉藤美喜代

例会日：毎週水曜日 12:30 ~ 13:30

TEL: 0985-30-5766

FAX: 0985-30-5788